

幸南の風



令和4年12月8日

校長 伊藤 公一

第15号

2つの思考法

フォアキャスティング (forecasting) とバックキャスティング (backcasting) という2つの思考法があります。

フォアキャスティングとは、過去と現状のデータに基づき、実現可能な目標を設定してその達成に取り組むアプローチの方法です。つまり、現在から目標に向けて一步一步前方へ進行して問題解決に向かっていく手順になります。学校でいうといじめ問題が発生し、解決するために様々な対応、努力をし、いじめ問題が解決できればやりがいを感じます。また、学力向上を課題としている学校が、学力テストで得点が向上すればやりがいを感じます。

これに対して、バックキャスティングは過去や現状にとらわれずに「こうありたい」という未来の姿を描き、実現のための取組を逆算的に組み立てるアプローチ法です。本校で重視している「リーダーインミー」は、こちらのやり方になると思います。このアプローチで目標達成を目指せば、教師も問題解決とは異なる達成感ややりがいを感じることができます。(内外教育第7038号参照)

12月 授業参観後の校長挨拶

早いものであっという間に12月となりました。天皇誕生日がなくなり、冬休みまで授業日はあと15日です。急に寒くなってきました。コロナも右肩上がりです。保護者の方々に置かれましても、お体どうぞご自愛ください。

本日はお忙しい中、授業参観においでいただき、ありがとうございます。保護者の皆様には、

日頃より学校に対しましてご支援・ご協力をいただきまして、大変ありがとうございます。感謝申し上げます。

保護者の皆様の多くは運転免許証をお持ちだと思いますが、免許を取るためには、交通ルールを覚え、運転技術を身に付けなければなりません。車の性能を理解し道路状況を判断して運転しなければなりません。小学校教育にも似ている部分があります。交通ルールは基礎・基本の内容。運転技術は、体験・経験を通して知識を活用し、思考力・判断力・表現力を身に付けさせること。子どもたちは学習すれば目に見えて知識量が増えます。そして、この知識を使い、友達と主体的・協働的な深い学びを行い、知識を知恵に変えていきます。つまり、子どもの学び方が大切になっていきます。

最後に、今月学校評価に関するアンケートをとらせていただきます。御協力の程お願いします。



(生け花ボラティア 三井さん作成)

花材：カーネーション、かすみ草)